

## 知識と技能の習得励む

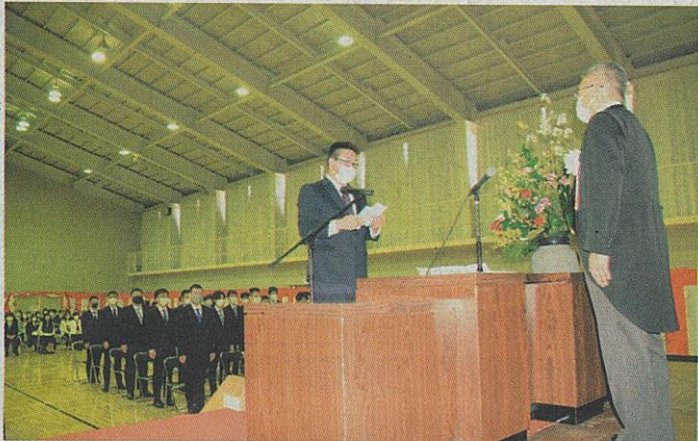
### 東北能開大青森校で入学式

#### 五所川原

五所川原市の東北職業能力開発大学校青森校青森職業能力開発短期大学校（東北能開大青森校、森田順司校長）で5日、2022年度入学式が行われた。保護者らが見守る中で45人の若人が、知識と技能の習得に励むことを誓った。

22年度は生産技術科に15人、電気エネルギー制御科に11人、電子情報技術科に19人が入学。今後2年間、恵まれた自然環境の中で、各分野の専門知識と技能を習得し、大学校への進学や県内外の産業界への就職を目指す。今年度は津軽地方だけでなく、県南地方や岩

手、宮城両県からの入学生も少なくないという。



有意義な学生生活を送ることを誓った工藤さん（中央）

入学認定の後、森田校長が「皆さまの今後の成長を期待するとともに、学校生活が実り多くなるよう祈念する」とあいさつ。来賓3氏が祝辞を述べ、このうち五所川原商工会議所の山崎淳一会頭は「仕事をする上で基本となるものを着実に学び、さらには人間関係をしっかりと構築する力を身に付けてほしい」と助言した。

新入生を代表し、電気エネルギー制御科の工藤大希さん（18）＝平内町出身＝が「豊かな人間性と高度な技能・技術を持った『ものづくりのスペシャリスト』となるため、諸規則を順守し、指導方針に従い、日々自己研さんに努める」と宣誓した。

（渋谷絃一）